

会津新選組ゆかりの地

時は慶応4年(1868)、月日は旧暦(8月21日は新暦で10月6日)



「陣ヶ峯峠」

西会津町と喜多方市山都町との峠。9月2日、大鳥圭介とともに長州藩に対して戦闘。陣地跡あり。大型不可、普通可。会津若松から車で30分。

「大塩裏磐梯温泉」

母成峠の敗戦後、旧幕府の大鳥圭介らと新選組、土方歳三は、8月23日大塩温泉に集結。大型駐車可。会津若松から車で30分。山塩で有名。

「福良本陣跡」

7月15日までの白河城下の戦いで敗戦。若松へ戻る途中猪苗代湖南の福良本陣で傷を治すため逗留。普通車駐車可。会津若松から車で30分。

「母成峠ざんごう跡」

長さ384メートル現存。台場もあり。8月21日、母成峠の戦い。耶麻郡猪苗代町大字蚕養地内。大型駐車可。会津若松から車で40分。

「新選組受難地」

9月5日、斎藤一ら13人は、市内神指町如来堂で新政府軍に襲われます。大型不可。神指城本丸駐車場より5分



会津若松インター

磐越西線

会津若松駅

飯盛山

「御宿屋敷跡」

新選組の斎藤一が宿泊。現在は「なかのしま」ソースかつ井で有名。駐車可。

「旧滝沢本陣」国重文・史跡
土方歳三が休息。藩主の松平容保公は、ここで白虎隊の出撃を命令する。銃弾跡あり。駐車可。大型は飯盛山駐車場へ・徒歩八分。

「清水屋旅館跡」

新選組の土方歳三らが宿泊。長州の吉田松陰は、1852年3月に宿泊。現在は大東銀行。駐車は付近の駐車場へ。



「斎藤一墓」

藤田五郎と改名した斎藤一の墓は、阿弥陀寺境内にある。境内には若松城にあった御三階の建物がある。駐車は付近の駐車場へ。



若松城跡 (国史跡)

若松城跡

「近藤勇墓」天寧寺

遺髪を埋葬したとされる墓。天寧寺と会津藩と天寧寺新選組で建立。大型不可。普通車可。

松平家墓所

「松平家墓所」国史跡
二代目から九代目松平容保公までの墓がある。東にPあり大型駐車可。



東山温泉

「不動湯」
土方歳三らが、傷の治療に逗留した温泉。現在「不動湯」。ホテル壁に絵がある。駐車可。

「大窪山墓地」

新選組と行動を共にした「別撰隊」の飯沼友次郎墓がある。3000基ある藩共同墓地・市史跡。駐車は不可。